

BUILDING MAINTENANCE NEWS

VOL.290

6月号
2013年

愛知

一般社団法人
愛知ビルメンテナンス協会
ABMA

発行・編集 一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会広報イメージアップ委員会 / E-mail aichibm@ililac.ocn.ne.jp URL (アドレス) http://www.aichi-bma.jp
〒460-0008 名古屋市中区栄2-1-10 伏見フジビル8階 TEL 052-265-7536 FAX 052-265-7537

今月の視点

省エネからエネルギーマネジメントへ

経済産業省中部経済産業局
資源エネルギー環境部エネルギー対策課長

岡田 邦雄

◆これまで日本の省エネ政策は、工場などの産業部門、ビルや家庭などの民生部門、旅客や貨物の運輸部門、それぞれの部門毎に省エネ法による規制と機器導入や省エネ技術開発の両輪で推進してきました。

しかし、東日本大震災以降、我が国のエネルギーを取り巻く状況は一変し、電力需給逼迫が長期化する中で、省エネや節電に取り組む気運が高まっており、この動きを持続可能なものとするため、需要家自らがエネルギー管理に積極的に参加できる社会の構築や省エネ建築・機器の普及加速化が鍵となっています。

◆民生部門ではこういった取組を進めるため、IT技術を活用したエネルギー管理を行うツールとして、家庭やビルのエネルギーマネジメントシステム(BEMS・HEMS)があり、普及導入を図るため、昨年度からBEMS・HEMSの導入補助を開始しました。

なかでも、ビル用エネルギーマネジメントシステム(BEMS)については、エネルギー管理を提供する事業者(BEMSアグリゲータ)が当該システムを導入する小口需要家を支援する仕組みを整えました。BEMSの機能を簡素化し、複数のビルを集中管理することで、価格引き下げを図り、今

後2年で約91万kWのピーク電力の節電効果を見込んでいます。

◆一方、家庭・ビルのエネルギー消費は、床面積・営業時間、世帯数の増加などで経済成長のスピードを上回る伸びを示しており、その対策として、住宅・ビルの断熱性能の強化を行う必要があります。このため、現在、省エネ法改正手続を進めており、改正案として建築材料(窓、断熱材等)にトップランナー制度を導入し、住宅・ビルの省エネ性能の底上げを図ることとしています。

◆これらの新たな取組に加え、従来から、ビルの「省エネ・節電」無料診断サービス、省エネ設備更新に係る補助金、利子補給、税制優遇制度(グリーン投資減税)の各種支援メニューもあります。是非ご活用ください。

◆このように、省エネ性能の高い設備・機器の導入だけではなく、IT技術を活用したエネルギーマネジメントシステム普及を通して、ビル単体だけでなく、地域内・地域間でのエネルギー管理を行うスマートコミュニティの推進など、「省エネからエネルギーマネジメントへ」更なる展開を図るため、皆様のご協力をお願いいたします。



第13回全国ビルクリーニング 技能競技会愛知地区予選会



5月15日(水)、第13回全国ビルクリーニング技能競技会愛知地区予選会が、中日コプロ(株)鳴海営業所3階「ビルクリーニング・トレーニングセンター」において開催されました。

この競技会は2年毎に開催され、床表面洗浄作業の技能を競う大会で、この予選会の成績上位4名が6月26日(水)同じ場所で開催予定の中部北陸地区大会に出場します。

なお、全国大会は、さいたま市のさいたまスーパーアリーナで予定されている「ビルメンヒューマンフェア'13」の開催中の10月31日(木)に行われます。

予選会には、9社から16名の選手が出場し、渡辺雅宏委員長を始めとする8名の審査委員の厳しい審査の結果、いずれの選手も卓越した技能を発揮され、甲乙つけ難い状況でしたが、以下の方が入賞されました。

- 入賞** 鬼塚聖子さん(大成(株))
太田義法さん(中日コプロ(株))
宮川愛子さん()
山村敏明さん()

- 次点** 上條由貴さん(テムズ中日(株))



入賞された皆さん、誠におめでとうございました。中部北陸地区大会でもご健闘され、全国大会の切符を手にするのを心より祈念いたします。

予選会は、渡辺真さん(大成(株))の選手宣誓の後、10時から競技が開始されました。

A、B二面のコートを使って同時に2名の選手がそれぞれ「早く、きれいに、正確で、安全な」作業を目指して、張り詰めた静寂の中、競技を展開し、14時50分に16名の選手全員が競技を終えました。

緊張の一日を過ぎた選手の皆さん大変お疲れさまでした。

入賞された皆さんには、全国大会を目指して、更に頑張ってくださいと思います。

惜しくも入賞を逃された皆さんも、入賞者に負けることも劣らない技量をお持ちであり、今後もそぞ



れの職場において、リーダーとして一層活躍されることをご祈念いたします。

早朝から応援に駆けつけていただき、終始熱心に応援いただきました皆さん、また、本予選会にご協力いただきました関係各位の皆様には心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

出場選手一覧(出場順)

- 嶋田香織 新生ビルテクノ(株)
- 宮川愛子 中日コプロ(株)
- 洞谷宗和 タイガー総業(株)
- 野添寿美子 ビューテック東海(株)
- 森 華恵 ジェイアール東海総合ビルメンテナンス(株)
- 竹村あゆみ (株)エスケイエム
- 渡辺 真 大成(株)
- 水野雅之 昭和建物管理(株)
- 上條由貴 テムズ中日(株)
- 山村敏明 中日コプロ(株)
- 林 達也 (株)エスケイエム
- 高橋秀岳 ジェイアール東海総合ビルメンテナンス(株)
- 森脇 優 大成(株)
- 太田義法 中日コプロ(株)
- 鬼塚聖子 大成(株)
- 吉田康一 ビューテック東海(株)

平成24年度研修運営会議

平成25年5月9日(木)午後3時から全国協会運営規程に基づく平成24年度研修運営会議(TV会議)が開催されました。

当協会からは、中部北陸地区本部研修運営委員の水藤副会長と当協会研修運営幹事の田中理事が出席しました。(オブザーバーとして小池中部北陸地区本部事務局長並びに協会事務局から辻藤、伊藤が参加)

会議では、①建築物衛生法省令改正・関係通知について ②従事者研修登録機関の手引き ③平成24年度の研修実績等の報告 ④平成25年度研修の予定について

全国協会(事業部)から説明がありました。

特に、本年1月21日付け厚生労働省健康局生活衛生課長からの通知で、研修について「内容は最新の知見を踏まえるとともに、受講者の技能の程度に応じたものとする事が望ましい。」とし、カリキュラム例が初めて示されたとの説明があり、現在、一括受講としている「貯水槽清掃作業従事者研修」についてどうするか、実施は平成26年度からとのことですが、今後の課題として浮き彫りになりました。

また、従事者研修登録機関となっている各地協会は20協会にのぼり、現在全国協会の傘下で実施している当協会として登録機関に手を挙げるか否かについて、検討する必要があるのではと感じました。



愛知県警備業協会 ビルメン支部総会・研修会

平成25年4月24日(水)午後1時30分から東京第一ホテル錦において、ビルメン支部の総会、研修会が開催されました。

最初に愛知県警生活安全総務課警備業担当の近藤警部補を講師に迎え「警備業をめぐる諸問題」をテーマに研修会を行い、立入検査を前に留意すべき点について懇切丁寧な講話をいただきました。43社から48名の参加がありましたが、質問も多く出され、有意義な研修会となりました。

その後の総会では、「平成24年度事業報告・収支決算について」「平成25年度事業計画・収支予算について」「平成25・26年度警備業役員候補について」審議されました。



政治連盟総会

平成25年5月16日(木) 14時から、名古屋駅前桑山ビル会議室において、平成25年度愛知ビルメンテナンス政治連盟総会が出席者49社(他に委任状提出会員61社)により開催されました。

総会では、①平成24年度事業報告・収支決算について ②平成25年度事業計画・収支予算について ③役員改選について 審議されました。

新役員の方々は、次のとおりです。

- 理事長 吉田治伸(コニックス(株))
副理事長 川井克己(昭和美装(株))
幹事長 大岡三洋((株)三清社)
副幹事長 飯田英貴((株)ダイケングループ)
副幹事長 橋本祥治(東海美装興業(株))
副幹事長 深谷英一郎(東海ビル管理(株))
副幹事長 伊藤一喜(豊興業(株))
会計責任者 福岡輝道(福佳(株))
会計監査 勝野英雄(セイコー(株))



平成24年度 労働安全衛生優秀作品

標語 **その作業**
「急がず」「慌てず」「一歩ずつ」
(株)ダイケングループ名古屋支店 分部俊文さんの作品

理事会・各種委員会等

◆第11回理事会

開催日時 平成25年5月20日(月) 14時～

開催場所 協会事務局会議室

出席者 勝野会長始め13名の出席者を得て勝野会長が議長となり審議を行った。

主な審議事項
・平成25年度事業計画・予算について
・全国協会役員候補者及び代議員の選出について
・委員会報告

◆清掃作業従事者研修講師打合せ会

開催日時 平成25年5月21日(火) 10時30分～

開催場所 協会事務局会議室

田中委員長、酒井副委員長及び講師5名により、平成25年度清掃作業従事者研修(初級、中級)の内容について検討を行った。

会員の動き 6月1日現在会員数 普通会員 123社 賛助会員 21社

普通会員			
年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
25.4	日本空調サービス(株)名古屋支店	代表者	新 取締役・常務執行役員中日本本部長兼 名古屋支店長 友利浩樹 旧 名古屋支店長 渡辺資史
	(株)N・B・C	退会	
25.5	豊興業(株)	登録者	新 取締役事業統括部長 伊藤一喜 旧 取締役事業統括部長 近藤 豊
	(株)ソクナ	代表者	新 代表取締役社長 大山泰裕 旧 代表取締役 大山泰裕
		登録者	新 青木麻里子 旧 代表取締役 大山 泰裕
		住所	新 名古屋市中区丸の内一丁目15番9号 SUGAKICO 第2ビル 4F 旧 名古屋市中村区名駅五丁目4番14号 花車ビル北館302号
		電話	新 052-253-9381 旧 052-581-9381
		FAX	新 052-253-8949 旧 052-581-8989

賛助会員			
年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
25.4	大一産業(株)	登録者	新 支店長 岡 康博 旧 支店長 安居正浩
	コニシ(株)名古屋支店	代表者	新 支店長 野田昌治 旧 支店長 高中喜一郎
25.5	コニシ(株)名古屋支店	住所	新 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-4 坂種栄ビル15F 旧 〒460-0008 名古屋市中区栄5-28-12 名古屋若宮ビル7F
		TEL	新 052-217-8622 旧 052-262-8172
		FAX	新 052-217-8632 旧 052-262-8175

全国協会からのお知らせ

～第12次労働災害防止計画について～（平成25年5月2日付 全国協会ニュースから）

このほど厚生労働省より、労働者の安全と健康を保持するため、平成25年度～平成29年度（平成25年4月～平成30年3月までの5年間）を対象とした「第12次労働災害防止計画」が3月8日に公示されました。

「労働災害防止計画」とは、労働災害を減少させるために国が重点的に取り組む事項を5年毎に定めた中期計画です。

つきましては、「第12次労働災害防止計画」をお目通しいただき（下記URL）、今後の労働安全衛生活動に活用していただきますようお願いいたします。

全国協会としても厚生労働省のご指示のもと下記目標に取り組んで参りますので、皆様方におかれましてもご協力賜りますようお願い申し上げます。

■ 第12次労働災害防止計画全体目標

- 1 平成29年までに、労働災害による死亡者数を平成24年比で15%以上減少
- 2 平成29年までに、労働災害による死傷者数（休業4日以上）を平成24年比で15%以上減少

■ 第12次労働災害防止計画関連URL

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei21/>

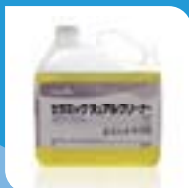
平成25年7月の予定

文月

日	曜	行 事 等	日	曜	行 事 等
1	月	ビルクリ科通信訓練（実技）（トレーニングセンター）	17	水	排水管清掃従事者研修（ウインクあいち）
2	火		清掃作業従事者研修（名古屋港湾会館）	18	木
3	水		19	金	
4	木	ビルクリ科通信訓練（実技）（トレーニングセンター）	20	土	第35回愛知県障害者技能競技大会（豊川市）
5	金		21	日	
6	土		22	月	定時総会（東京第一ホテル錦）
7	日		23	火	
8	月		24	水	
9	火	空気環境測定実施者再講習会（名古屋港湾会館）	25	木	
10	水		26	金	全国協会定時総会
11	木		27	土	
12	金		28	日	
13	土		29	月	
14	日		30	火	
15	月		31	水	
16	火				

賛助会コーナー

Diversey 春の新製品ラインアップ



2つのクリーニングと
2つの汚れに、
これ1本の
セラミックタイル
専用クリーナー

セラミックデュアルクリーナー
業務用 セラミックタイル床用洗剤



コードレスなのでサッと使える

BREEZE
コードレスハンディバキュームクリーナー

ディバーシー株式会社 For more information visit www.Diversey.co.jp

●名古屋営業所 / 〒460-0007 名古屋市中区新栄2-4-3(明輪ビル8F) TEL.052-259-7632 FAX.052-259-7639
●本社 / 〒231-0023 横浜市中区山下町22番地(山下町SSKビル) お客様ご相談窓口 TEL.045-640-2380 FAX.045-640-2216

Diversey
for a cleaner, healthier future®

事務局だより

6月は、梅雨の季節。九節気である芒種です。芒（のぎ）とはイネ科植物の穂先にある針のような突起のことで、芒種は、この芒のある穀物の種を蒔く時期であり、田植えを始める目安とされました。

「稲」の語源は「命の根」という説もあり、昔、田植えは単なる農作業では無く、田の神様をお祀りする神事の意味合いもあったということです。古く豊草原瑞穂の国と称され稲穂の輝きに豊穰感を抱いてきた古人にとって、やはり米は特別な存在だったのでしょう。

都会では、田植えはほとんど見る機会もありませんし、米に対する意識も希薄になってきていますが、先人の特別な思いに心を寄せて、旨い国産米を食しつつ、恵みをもたらすこの梅雨空に感謝をしようではありませんか。

さて、協会はこの6月から新年度となり、7月総会では、新役員も選出されます。事務局一同、心新たに業務に邁進したいと思っておりますので、よろしくお願いたします。